



国公立大や難関私立大の AO・推薦入試では、①活動履歴(課題研究・資格等)、②研究計画、③高い基礎学力、④高い表現力が求められます。関高校では SGH 活動を通じて、そのような力の習得をめざします。今回は、SGHを生かした大学入試の最新報告です。

## ◇ 2020年高大接続改革と関高校のSGH活動

文部科学省は、主に知識量や解法スキルが問う従来型の大学入試から、思考力・判断力・表現力、さらには課題発見・解決力を評価する入試へと大きく転換させる方針を打ち出しました。これに加え、高校での探究活動の履歴、大学での研究や将来の夢を設計する力など、さまざまな観点からの評価も計画されています。従来型の学力に加えて、自分から積極的に学び課題を見つけ解決する力が強く求められているのです。

## ◇ SGH活動と大学進学対策

SGH 活動で培った様々な力は、大学や実社会で大きな力を発揮します。では大学進学にはどのように関わるのか。以下に列举してみます。

- ① 自身のキャリア意識の向上により、日々の学習や進学へのモチベーションが高まる。
- ② 視野の広がりや思考の深まりが、様々な教科・科目を支える基礎力となる。
- ③ 言語を活用したパフォーマンスが向上し、小論文・面接・ディスカッション・総合問題などの入試対策に直結する力となる。
- ④ 課題研究の成果をはじめとする活動履歴や、SGH 活動を通じて深めた自己のキャリアプラン(研究計画)を、第一志望の大学の AO 入試や推薦入試で活用する。

以上の4つのポイントのうち、今回は④の事例を紹介します。本年度の3年生は、いわば SGH 第一期生。早くも4名の生徒が、SGH 活動の成果を生かして第一志望の大学に合格しました。以下はその簡単な紹介です。

## ◇ 観光開発をテーマに地域振興を提言 和歌山大学観光学部AO入試

コスタリカへの留学(AFS)や、探究活動を通じた他校との交流(岐阜県 SSS)に参加。活動履歴や研究計画を提出するとともに、岐阜県の地域振興を目的とした観光開発プランを練り上げ、プレゼンの準備を進めました。課題発見・解決力、プレゼン力が求められる内容でした。

## ◇ 霊長類研究と学会発表の成果を活用 広島大学理学部生物科学科AO入試

動物園でゴリラの行動観察を続け、学会で発表した研究グループの一人。活動履歴や研究計画を提出した上で、本番では、生物に関わる口頭試問、英語口頭試問を受験。探究活動の成果やキャリアプランニング能力は無論のこと、高い基礎学力も同時に求められる内容でした。

## ◇ 課題研究・英語プレゼンを通じ実力養成 岐阜県立看護大学看護学部推薦入試

課題研究で交通渋滞の問題を探究し、研究成果を全校生徒の前で英語プレゼンしたほか、シンガポール研修や高齢者介護施設慰問、ふれあい看護等の様々な体験を通じて、自身のキャリア開発に努めました。その成果を活動履歴や研究方針にまとめた上で、小論文と面接を受けました。

## ◇ キャリアプランと高い語学力を活用 関西学院大学国際学部国際学科AO入試

カナダ留学体験のほか、SGH 事業で行われた様々な講演会やセミナーに参加。校内の SGH 英語プレゼン大会では司会を務めました。TOEFL 証明書や研究計画を提出した上で、日本語小論文(一次試験)と面接(二次試験)を受験。英語・日本語の活用能力が問われる内容でした。